



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社イーディーピー 上場取引所 東
 コード番号 7794 URL http://www.edp.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤森 直治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼総務部長 (氏名) 高岸 秀滋 TEL 06-6170-3871
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	579	—	241	—	272	—	197	—
2022年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	89.16	84.73
2022年3月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2022年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2022年6月27日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から2023年3月期第1四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,607	3,902	84.7
2022年3月期	2,817	2,045	72.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,902百万円 2022年3月期 2,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,719	74.1	940	80.6	965	82.9	675	80.2	269.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

1株当たり当期純利益は、上場に伴う公募株式数（360,000株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（64,300株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	2,545,300株	2022年3月期	2,180,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	－株	2022年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	2,211,756株	2022年3月期1Q	－株

（注）2022年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格の高騰等の大きな変動に見舞われました。米国の消費は堅調に推移したものの、物価が高騰し始め、FRBは思い切った利上げを行いました。当第1四半期会計期間末までに、懸念していたほど大きな景気後退とはなりませんでしたが、今後は予断を許さない情勢となってきました。

当社ビジネスの主戦場である、LGD (Laboratory Grown Diamond:人工ダイヤモンド宝石、以下「LGD」という。)の分野においては継続して市場規模が拡大しており、引き続き世界各地で新しいLGD製造企業が立ち上がっております。また、大型の人工ダイヤモンド宝石を求める傾向が顕著になっており、ブリリアントカットばかりではなく、様々な形状の人工ダイヤモンド宝石が市場に流通しております。

この様な情勢の中で、当社の種結晶ユーザーからは、当社に引き続き非常に強い引き合いが来ており、当社の生産能力で売上高が決まる状況が継続しております。既に建設を決定している新工場（島工場）については、2022年5月にその建屋工事が開始され、計画通り2023年3月期第3四半期に稼働すると見込んでおります。新工場（島工場）の稼働によって種結晶の生産量の拡大が見込まれますが、それ以前に種結晶の出荷を増加してユーザーの要求に応えるため、生産技術の改善を進めてまいりました。また、2021年12月から2022年6月にかけて、工場における生産設備等の配置の変更により成長装置の増設も行いました。生産技術の改善と成長装置の増設により、当第1四半期累計期間において、生産効率の向上を果たしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は579,680千円、営業利益は241,443千円、経常利益は272,796千円、四半期純利益は197,196千円となりました。また、当第1四半期累計期間の製品種類別の売上高は、種結晶557,753千円、基板及びウエハは4,605千円、光学系及びヒートシンクは12,963千円、工具素材は4,358千円となりました。

なお、当社はダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は4,607,651千円となり、前事業年度末に比べ1,790,097千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資等により現金及び預金が1,540,427千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は704,695千円となり、前事業年度末に比べ67,599千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が16,009千円、賞与引当金が18,362千円、役員賞与引当金が18,000千円、長期借入金金が22,446千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は3,902,956千円となり、前事業年度末に比べ1,857,696千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資や新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ830,250千円増加したこと、四半期純利益計上により利益剰余金が197,196千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年8月12日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,066,995	2,607,422
売掛金	137,988	218,183
製品	17,354	18,294
仕掛品	129,407	157,683
貯蔵品	24,680	22,109
その他	42,128	30,750
流動資産合計	1,418,554	3,054,444
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	161,280	168,750
機械及び装置（純額）	1,058,533	1,013,248
その他（純額）	116,045	319,516
有形固定資産合計	1,335,860	1,501,516
無形固定資産	5,946	6,297
投資その他の資産	57,192	45,392
固定資産合計	1,398,999	1,553,206
資産合計	2,817,554	4,607,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,311	14,983
1年内返済予定の長期借入金	89,784	89,784
未払法人税等	88,784	72,774
賞与引当金	23,168	4,806
役員賞与引当金	18,000	—
その他	119,139	129,485
流動負債合計	357,188	311,834
固定負債		
長期借入金	350,054	327,608
退職給付引当金	1,707	1,869
資産除去債務	63,344	63,383
固定負債合計	415,105	392,861
負債合計	772,294	704,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,170	1,325,420
資本剰余金	1,024,770	1,855,020
利益剰余金	525,319	722,515
株主資本合計	2,045,259	3,902,956
純資産合計	2,045,259	3,902,956
負債純資産合計	2,817,554	4,607,651

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	579,680
売上原価	209,140
売上総利益	370,540
販売費及び一般管理費	129,097
営業利益	241,443
営業外収益	
為替差益	51,326
その他	29
営業外収益合計	51,356
営業外費用	
支払利息	998
上場関連費用	11,222
株式交付費	6,761
その他	1,020
営業外費用合計	20,002
経常利益	272,796
税引前四半期純利益	272,796
法人税、住民税及び事業税	64,185
法人税等調整額	11,414
法人税等合計	75,600
四半期純利益	197,196

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、2022年6月27日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この株式上場にあたり、2022年6月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行360,000株により資本金及び資本準備金がそれぞれ828,000千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末における資本金は1,325,420千円、資本剰余金は1,855,020千円となっております。

(セグメント情報)

当第1四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

当社は、ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株の発行)

当社は、2022年6月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2022年5月20日及び2022年6月9日開催の取締役会において、SMBC日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連し、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式発行を決議し、2022年7月27日に払込が完了いたしました。新株式発行の概要は以下のとおりであります。

第三者割当による新株式発行（オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当）

(1) 発行した株式の種類及び数	普通株式 64,300株
(2) 割当価格	1株につき 4,600円
(3) 割当価格の総額	295,780千円
(4) 資本組入額	1株につき 2,300円
(5) 増加した資本金の額	147,890千円
(6) 増加した資本準備金の額	147,890千円
(7) 割当先	SMBC日興証券株式会社
(8) 払込期日	2022年7月27日
(9) 資金使途	島工場の建設費用並びに島工場及び横江第1工場に導入予定の製造設備資金に充当する予定